

情 報 公 開 文 書

研究の名称	全人工膝関節置換術 (Total Knee Arthroplasty: TKA) の術後鎮痛方法間における嘔気出現および鎮痛薬持続静注 (Intravenous patient-controlled analgesia: IV-PCA) 中止頻度の比較
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	竹村 佳記
研究の概要	<p>【研究対象者】 2012年4月から2021年3月までの間で、富山大学にて全身麻酔下でのTKAを受けられる患者全般とします。</p> <p>【研究の目的・意義】 近年、TKAに対する術後鎮痛法が変わりつつあります。それに伴い、「術後の問題の1つである嘔気の頻度が減少するのか」および「術後嘔気の原因となりうる鎮痛法のIV-PCAの継続なされるようになるのか」を明らかにするために調査します。</p> <p>【研究の方法】 2012年4月以降9年間に於いて当院でTKAを受けられた患者全般を対象とします。後ろ向き研究です。対象者の術後の嘔気の有無の他に、年齢や術後の痛み、術後の嘔気因子などについて診療情報から情報を得て、それらを統計処理をし、TKAに対する術後鎮痛法の違いで術後嘔気およびIV-PCAの継続症例がどのように増減するかを調べます。</p> <p>【研究期間】 承認日～2021年3月</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学術集会や研究会などの議論の場や、論文などの出版物という形で得られたデータを公表する予定です。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>試料はありません。</p> <p>診療目的で取得・保有する診療情報を用います。外来や入院における術前診察時や手術前後の回診時の情報、入院中の診療情報や退院後の外来診察時の情報から情報を得ます。具体的には、年齢・性別・体重およびBody Mass Index・既往歴・喫煙歴・麻酔方法・手術時間・麻酔時間・タニケット使用時間・術後症状(術後嘔気を含む)・術後歩行開始時期・術後食事再開時期・術前から術後における使用薬剤・IV-PCA中止の有無です。</p> <p>また、これらの情報を他機関へ提供する事はありません。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	国立大学法人 富山大学学術研究部医学系 麻酔科学講座 助教 竹村佳記
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7377 FAX 076-434-5040 E-mail tkmrysnr@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系 麻酔科学講座・竹村佳記</p>